

居宅介護支援事業所たより

第15号(3)

ケアマネジャーの庄司です。在宅生活や介護認定の相談、介護保険以外のサービスについてのお問い合わせにも対応しております。

二〇〇〇年に施行された介護保険制度ですが、実状にあつたものにする目的で、3年ごとに見直されています。これまで寄付活動を行っている贈呈式では赤石理事長が「大切に使わせていただきます」と謝辞を述べた。

第一生命労働組合車椅子贈呈式



車椅子贈呈式の様子



実習・ボランティア

柏木妙子御一行様 森吉赤十字奉仕団様
七曲自治会様 米内沢共勇会様
比内支援学校たかのす分校様 秋田北鷹高校様
大館鳳鳴高校様 森吉中学校様 米内沢保育園様
森吉ダンスキッズ様 米内沢祇園太鼓様
北都銀行米内沢支店様 森幸園様 もりの郷様

寄付・善意

㈱J A大館・北秋田葬祭センター様
第一生命労働組合 秋田営業支部 鷹巣分会様
Aコープもりよし様 ㈱かんきょう様
㈱タクト様 ㈱柏木実業様 明成園様
大桂メンテナンス㈱様 大倉節子様
谷地田優子様 藤原潤悦様 三浦武様
伊藤俊幸様 今野麗子様 檜岡多代子様

事業所 庄司信子
Tel 0186-72-5033

保険負担割合証」をご持参ください。



もりよし荘だより

かけは

NO. 16

平成30年10月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>



米内沢保育園の園児のみなさんによる演奏を
我が孫を見るように目を細め嬉しそうに見て
いました。

平成30年10月

広報かけはし

8月27日、第一生命労働組合秋田営業支部鷹巣分会より車椅子が寄付された。第一生命労働組合は社会貢献の一環として寄付活動を行っている。贈呈式では赤石理事長が「大切に使わせていただきます」と謝辞を述べた。

われ、方向性としては介護予防に重点が置かれるようになつたこと、社会制度の運営主体（保険者）で高齢者を見守るような仕組みを取り入れた事など税金で運営されています。しかし、家庭に閉じ込めなれて、高齢者を社会の一員とどのようにすることです。一番新しい二〇一八年度では、財政問題の改善の為、収入のある高齢者が、一定以上の年収がある方は自己負担率が2割あります。サービス利用相談の際は「介護保険被保険者証」と「介護

した。永続的に制度を運営していくための措置です。制度の運営主体（保険者）は、全国の市町村で保険料1割の自己負担が必要です。が、一定以上の年収がある方は自己負担率が2割あります。サービス利用相談の際は「介護保険被保険者証」と「介護

保険負担割合証」をご持参ください。

【入所】【通所リハビリテーション】

ご利用者様受付中!!
お気軽に施設見学等ご相談ください。

TEL: 0186-72-5030

▼さて、今回3年連続で「かけはし」の編集作業に携わりました。慣れた筈がないのはか編集作業がうまく行かず苦労しましたが、他の職員の方々のお陰で、無事に「かけはし」を発行することができました。（K・T）

今まで一番暑い夏も終づき始めた山々と共に、すくなく肌寒くなりました。今年も様々なニュースが世間を賑わましたが、何よりも今年は、全国で豪雨、酷暑、台風、地震など様々な災害が起こり日本列島が恐怖と悲しみで染まりました。そんな中、甲子園では秋田金足農業が秋田県勢では100年ぶりの決勝出場となり、秋田を沸かせました。残念ながら優勝は逃しましたが、その人気は秋田で留まらず全国的にも話題となりました。▼さて、今回3年連続で「かけはし」の編集作業に携わりました。慣れた筈がないのはか編集作業がうまく行かず苦労しましたが、他の職員の方々のお陰で、無事に「かけはし」を発行することができました。（K・T）

編集後記



力強い祇園太鼓の演奏

7月27日開かれ利用者や家族、地域住民が民謡ショーや祇園太鼓、ダンス、模擬店などで夏の夜のひとときを楽しんだ。会場には、焼きそば、かき氷、金魚すくい、輪投げ、くじ引きなどの夜店が設けられ、職員やボランティアが汗だくになって切り盛りした。利用者も家族らに車イスを押してもらい、買い物や一緒に食事する姿も見られた。くじ引きでは欲しいものが当たり喜ぶ利用者で賑わった。玄関前では、祇園太鼓によるダンスが披露され、会場からは大きな

夜店やショー満喫 ～夕涼み会開催～



暑さをも吹き飛ばすダンスキッズの華麗な舞



くじ引きを楽しむ利用者

心を込めて

6月6日、もりよし荘での恒例行事となつた、北秋田市森吉赤十字奉仕団の員が、晴天の下、マリーポールドやサルビアなどの花苗の移植作業を行なつた。毎年6月に植栽を行なつており、「皆に綺麗に咲いて」



移植作業に汗を流す参加者

た花を楽しんでいつてもらいたい」との思いで、色合いや配置を考えながら一つずつ丁寧に植えられていた。秋まで咲き続く色とりどりの花が、利用者を楽しませてくれている。



華麗な棒さばき

共勇会駒踊り



躍動感あふれる踊り

8月13日米内沢共勇会の駒踊りが行われ、利用者たちを喜ばせた。

利用者たちは玄関前に移動。共勇会の人たちがおはやしに合わせ奴踊りや棒使ひ、勇壮な駒踊りを披露した。毎年の恒例行事とあつた。

田北鷹高校の生徒や各企業に協力いただき感謝している。熱中症に注意しながら、楽しんでいくください」とあいさつした。

その後ホールでは柏木妙子民謡ショーが行われ、曲子民謡ショーが行なわれ、曲に合わせて手拍子や歌を口ずさむ利用者もいて会場は盛り上がつた。



柏木妙子民謡ショー



済設施長より目録を受け取る利用者

9月6日敬老会が開かれ、お祝に訪れた家族や関係者多数のご臨席のもと、利用者の長寿をお祝いした。最高齢101歳が2人。95歳以上が12人、卒寿7人、米寿8人、傘寿3人、高寿4人となつていています。

はじめに赤石利法理事長があいさつ。近藤健一郎県議、北林丈正県議が祝辞を述べたあと、短期、通所利用者を含めて、喜寿（77歳）、傘寿（80歳）、米寿（88歳）、卒寿（90歳）の年祝いを迎える方を紹介。済設施長が利用者を代表した米寿の木村ユリさんへ記念品を贈った。

九島リツさんが「私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます」と語った。

施設長が利用者を紹介した米寿の木村ユリさんへ記念品を贈った。

この日88歳の米寿を迎えた人々は赤いちゃんちゃんこを着て式に出席。敬老対象者と利用者は車椅子や歩行を助けてもらいながら

朋 ーなかまー



応援のお礼に歌を歌ってくれたランナー



選手達を応援する利用者

祝敬老
心豊かに過ごす
家族らと長寿喜び合う

ざいます。これからも健康に気を付けて心豊かに過ごしていきます」とお礼の言葉を述べた。

式典が終了後、米内沢保育園の園児による太鼓や歌、踊りなどのアトラクションを楽しみながら、お互いの長寿を祝っていた。



園児からのプレゼント

「出会いはた・か・ら」をテーマに掲げた2018年度秋田内陸リゾートカップ第28回100キロチャレンジマラソン大会が9月23日、仙北市角館町・北秋田市鷹巣間をコースに開かれた。晴天にも恵まれ、少し暑い中利用者は莊の入口にてマラソンランナー達へ「ゴールまで頑張ってね」と旗や手を振り熱い声援を送った。声援を受けたランナーは「頑張ります、来年も来れるから元気でいてね」と笑顔で手を振ってくれた。ランナーと利用者との和みのひとときだった。